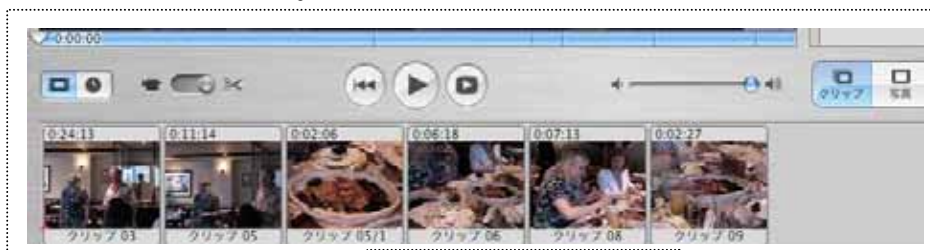


## ビデオ編集とDVD作成 - その2 -

前回ビデオカメラから取り込んだビデオクリップをビューアというビデオ編集作業場所に配置しました。ビューアの表示には二通りあります。以下のような「クリップビューア」と「タイムラインビューア」です。



「クリップビューア」



「タイムラインビューア」

「タイムラインビューア」ではきめの細かな編集作業が可能です。「クリップビューア」ではクリップ毎の時間が表示されますので時間の流れを確認できます。

編集作業に入る前に、自分でビデオを編集する場合どの程度の長さに調整すればいいのだろうか？と迷うところです。

長くても15分程度、短いもので3分～5分程度が良いのではと個人的に思います。15分程度のものを4つ結びつければ60分程度になります。よほど興味をそそるものであれば、連続1時間でも飽きないで再生できますが、そうは行きません。

最終的にはDVDでチャプターを作成しそれに合わせてビデオを配置するのが再生しやすいのではと思います。

少し余談になりますが、以前1時間以上のビデオを編集した後、確認の為再生していました。途中でコックリと居眠りし始め途中で中断、もう一度同じように再生確認しているとまた同じ箇所でコックリと居眠り、よほど興味のそそらない内容かお疲れ気味だったのか？堂々巡りでした。

今思えば 15 分程度が確認再生するには程よい長さではと思います。あるいは 15 分単位にビデオクリップを編集し、最終的に結合して 1 時間程度にするのが宜しいかと思います。

では編集作業へと入ります。

参考までに編集前のビデオ素材を下記アドレスに上げていますので、宜しければご覧下さい。60 秒程度の動画で音声も含まれます。「編集前のビデオへリンク」の中です。

<http://www.takeyaku.com/video/>

本来のビデオ素材では 700MB 近くありますが、QuickTime 形式の動画に変換して 2MB 程度にとなっています。ただし画面サイズはかなり小さくなっていますので驚かないで下さい。

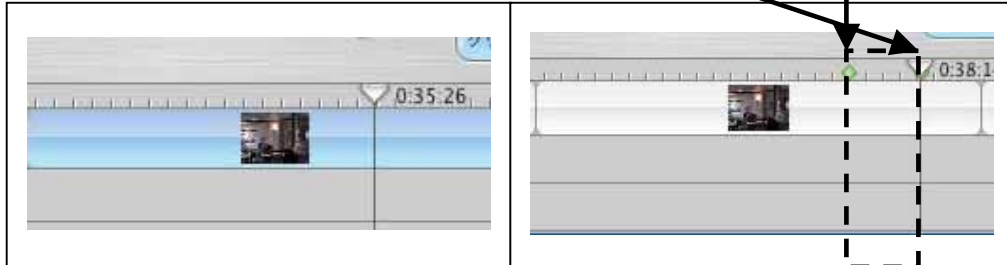
再度編集作業へ戻ります。選択されたビデオクリップ毎に画面の動き並びに音声の確認をします。とりあえず画面を優先して確認しましょう。撮影するといつでもそうですが、不要な部分や無駄な部分があります。その不必要な部分をビデオクリップから消去し何となく（かなりいい加減ですが）？見栄えを良くします。

確認するとわかるのですが、左から 2 番目のビデオクリップで実は不要な部分があります。それを例にクリップの切り取りを行います。

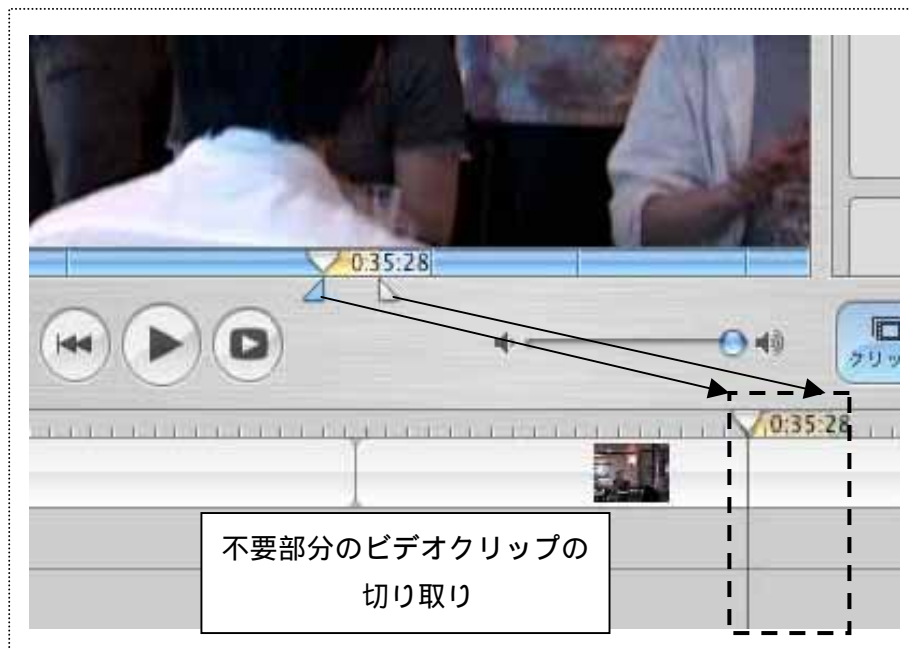
どのような画面かと言いますと、レストランで外国人が歌っていて画面にウェイトレスさんが現れる場面があります、その場面です。画面をスッキリさせるために以下のように作業を行います。

不要な部分のタイムライン上の先頭（35：28 秒）にポインターを合わせマーカーでブックマークを付けます。不要な部分最後

に (38 : 14 秒) にもブックマークを付けます。このブックマーク間が不要なクリップとなります。ブックマークを付けなくても



ポインターを調整して出来ますが、一コマ単位の設定がマーカーを利用すると可能となります。



ツールバーの編集の中に「消去」がありますのでそこを選択しクリックを行うとクリップが消去されます。もし誤って消去した場合には同じ編集の中に「消去の取り消し」がありますのでこれを活用されて復元して下さい。

では、少し先を急ぎまして、タイトルの挿入と場面の転換の実

例を行ってみます。最初にタイトルを入れてみます。パネル切り替えボタンが画面右下にあります。

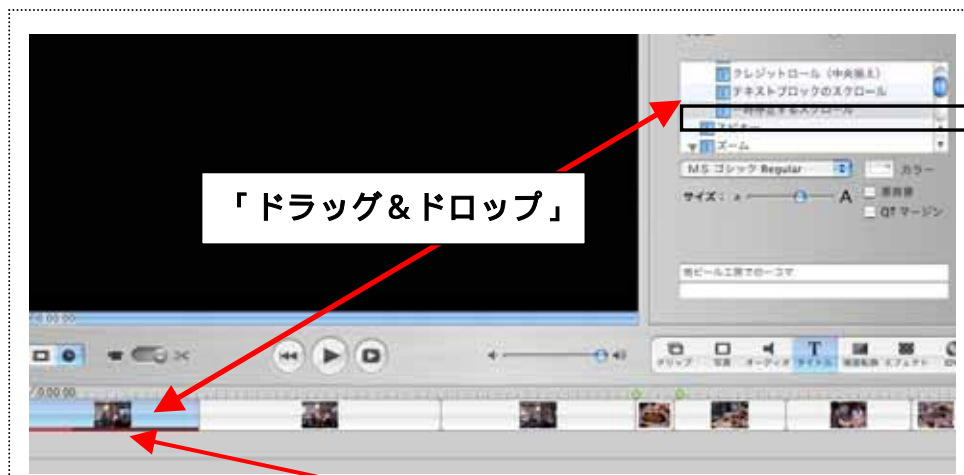
タイトルボタンをクリックしますとタイトルの表示の種類を



選択することが可能です。テキスト枠にタイトルやコメントを入



力します。ここでは「地ビール工房での一コマ」と入力します。文字サイズや色、同時に表示速度・停止時間の選択が可能です。



タイトル部分のビデオクリップ

プレビューで確認できますので気に入った表示を確認して確定します。確定する場合には選択された表示の種類を挿入する先のビデオクリップのタイムライン上に「ドラッグ&ドロップ」して配置します。前の図の様になります。

クリップの作成には書き込みに若干時間を要します。またパソコンの処理能力も必要としますので、どうしてもタイトルを挿入することでタイトル表示前の音声と比べて少し小さいようだと表示時間を短くし書き込みに負担をかけないか、パソコンの処理能力の大きいもので編集作業を行った方がいいかもしれません。

次に場面の変換です。ビデオの流れの切れた画面を上手くつなぐには非常に便利の良い機能です。色々な場面の変換が可能です。フェードイン、フェードアウトはもちろんのことオーバーラップ等もあります。

クリップとクリップとのつなぎ目に場面転換を利用してみましょう。パネル切り替えボタンの中に場面変換ボタンがあります。今回タイトルクリップの次とその次の画面は同じような場面ですので切り替えにオーバーラップを利用してみます。

先ほどのタイトル挿入と同じようなやり方です。オーバーラップの時間をプレビューで確認しながら設定します。3秒程度にします。クリップ間に挿入しますので、挿入しやすいように「クリップビューア」に表示変更されて実行されてもかまいません。「ドラッグ&ドロップ」でクリップ間に配置します。以上で場面変換の実例は終わりです。

次回、場面転換後の音声の編集とBGMの挿入等を行います。

